61 境港 さかいみなと

（鳥取県境港市）

注目 ポイント ！

○ 妖怪を題材としたユニーク性とストリート性をテーマとしたまちづくり。

○ 行政、民間、住民の三者が協働して観光振興を推進。

水木しげるロード入り込み客数が約38万人から約86万人に！
（平成8年） （平成17年）

水木しげるロード

◇◇ コラム ◇◇

境港海陸運送㈱社長を退職後、水木しげる記念館館長、民間から初となる境港市観光協会会長に就任。豊富なアイデアと行動力で境港市の観光振興の中心的存在となる。これまでに「ブロンズ像スポンサー全国公募」、「妖怪大行進」など様々なイベント等を仕掛け、境港市を全国発信し続けている。

境港市観光協会
会長
桝田 知身氏

これまでの経緯

昭和６３年（１９８８）	「街づくりプロジェクト委員会」発足。
平成 元年（１９８９）	「緑と文化のまちづくり」の取り組みがスタート。
平成 ４年（１９９２）	「緑と文化のまちづくり」の一環としてJR境港駅から商店街を結ぶ目抜き通りを妖怪と漫画をテーマとしたコミュニティロードとして整備開始。 （地元出身の水木しげる氏の漫画に登場する妖怪のブロンズ像80体を設置）
平成 ８年（１９９６）	第1回世界妖怪会議開催。
平成１０年（１９９８）	「水木しげるロード振興会」が発足。
平成１２年（２０００）	「妖怪神社」を民間まちづくり会社が建立。
平成１５年（２００３）	「水木しげる記念館」を境港市が開館。
平成１７年（２００５）	「第12回優秀観光地づくり賞」を境港市観光協会が受賞。 「JR境線観光路線化事業」によりJR境線16駅に妖怪の愛称。
平成１８年（２００６）	鬼太郎フェリー就航。 スポンサーブロンズ像の設置が完了。（ブロンズ像119体） 大漁市場なかうらが「がいな鬼太郎」を設置。 障害者にも楽しめる水木しげるロード整備検討調査を開始。

主な取り組み

水木しげるロードの整備

JR境港駅から商店街を結ぶ目抜き通りに、地元出身の漫画家水木しげる氏から全面的な協力を得て「ゲゲゲの鬼太郎」に登場する妖怪のオブジェ等の設置を計画。不吉なイメージとして反対があったが、粘り強い説得の末、遂に実現。

さらに、民間まちづくり会社が「妖怪神社」を建立。空き店舗を活用して手作り鬼太郎グッズが販売され、民間の倉庫には「妖怪壁画」も出現。観光客がほとんど訪れることのなかった商店街に活気。

水木しげる氏の協力を受け建立した妖怪神社

水木しげる記念館

世界中から集めた妖怪に関するコレクション、館独自に制作したオブジェ等を展示し、独創的かつ多様な「作品」の世界を表現。哲学や精神の表現された「妖怪」の世界を展示や映像で紹介。水木しげるロード入り込み客数の増加に貢献。

水木しげる記念館

鬼太郎ゲタ飛ばし

地元商店街を中心に「妖怪スタンプラリー」など年間を通じ多数のイベントを開催。出雲大社が陰暦の10月を「神在月」としていることにならい、全国の妖怪や精霊たちが集まる8月を「霊在月」と命名。「鬼太郎ゲタ飛ばし大会」など観光客も参加できる大会を実施。

「ゲゲゲの鬼太郎」
ゲタ飛ばし大会の様子

フィッシャーマンズワーフの展開

境港市には年間70万人が訪れる「境港水産物直売センター」があるほか、平成4年竹内団地に水産物直売施設「大漁市場なかうら」、さらに平成11年には夢みなと公園内に「境港さかなセンター」がオープン。官民ともに頑張り、地元に活力。

水産物直売センターの様子

問い合わせ先

○境港市産業環境部通商課
Tel：0859－47－1068
○境港市観光協会事務局
Tel：0859－47－3880　http://www.sakaiminato.net/